

## ビルピット用 消臭・分解剤「バイオ・グリーン」

「ビルピット排水」からの悪臭対策と有機物分解に貢献！

### 〈背景〉

中東のビルの地下には「ビルピット」を設置しています。各階の雑排水（台所、洗面所、シャワー室からの排水）、汚水（トイレの排水）は一度、地下のピットに溜められます。

公共下水道の無い中東ではこの排水を毎日、バキューム車で汲み取り池に放流するか最終処理プラントで分離生成されて再利用されています。

### 〈問題点〉

- ① **【居住者の不満】** 排水量が多くなると地下駐車場、ビルの1階に排水が溢れて悪臭が発生する。



ビル1階の歩道（ドバイ）

- ② **【劣悪な作業環境】** 汲み取り時の作業員への悪臭負担がある。

- ③ **【環境破壊】** バキューム車から放流された下水湖が藻の発生で緑色になっている。



下水放流状況（サウジアラビア）



下水湖（緑色）（サウジアラビア）

- ④ **【劣悪な作業環境】** 最終処理プラントでの悪臭がある。

### 〈提案〉

バイオで解決！テイト微研のバイオ商材(made in Japan)で快適な空間を

弊社では日本国内のビルピットからの悪臭成分の主体である、硫化水素をバイオで分解した実績があります。

### 〈開発背景〉

日本では1955年以降から本格的に公共下水道の普及が始まりました。しかし、それ以前は長い歴史の中ではほとんどが貯留タイプのトイレで、このために各微生物研究では排泄物の成分の研究から微生物による消臭と堆肥化の研究が行われました。そんな中で完成した微生物製剤は日本の市場には僅かに広まりかけましたが、公共下水道の普及のために現在では一部の浄化槽で使用する程度になりました。

近年、急成長した経済都市のビルピットにて悪臭の除去に成功しました。利用者が富裕層であることが多く、ビルオーナーの要望は他の建物に比べて圧倒的に室内／共用施設の快適な空間を作ることが絶対条件でした。

### 〈原因と解決〉

では、なぜビルピットでの効果が認められたか。これはビルピットの悪臭が硫化水素によるもので、この原因は汚水に含まれる排便の臭いが原因であったため、排泄物用の微生物製剤が大きな効果をもたらしました。

### 〈実績〉

弊社の微生物製剤「バイオ・グリーン」は長年の実績から悪臭の元である排泄物の消臭と分解のためにビルピットで使用されています。



地下レストランのビルピットに使用



遊戯店のビルピットに使用

### 「バイオ・グリーン」とは

微生物製剤の中でも特に悪臭の元となる、排泄物の消臭と分解に効果があり、生ごみ等のタンパク質の腐敗臭も分解します。

この微生物製剤は環境修復で自然の緑に戻したいという目的から「バイオ・グリーン」と名付けました。



「バイオ・グリーン」製剤

## 〈会社概要〉

テイト微研は官公庁への納入実績があります。現在、日系大手自動車メーカーにコンサルタントを依頼されており、今後発展が期待されているバイオ業界で先進的で信頼性の高い企業です。弊社ではビルピットからの悪臭の元である硫化水素は完璧に分解します。弊社ではこの硫化水素の発生の原因と消臭の試験を日本で初めて行い、福岡大学の研究機関（[福岡大学資源循環・環境制御システム研究所](#)）において理論的に証明しました。